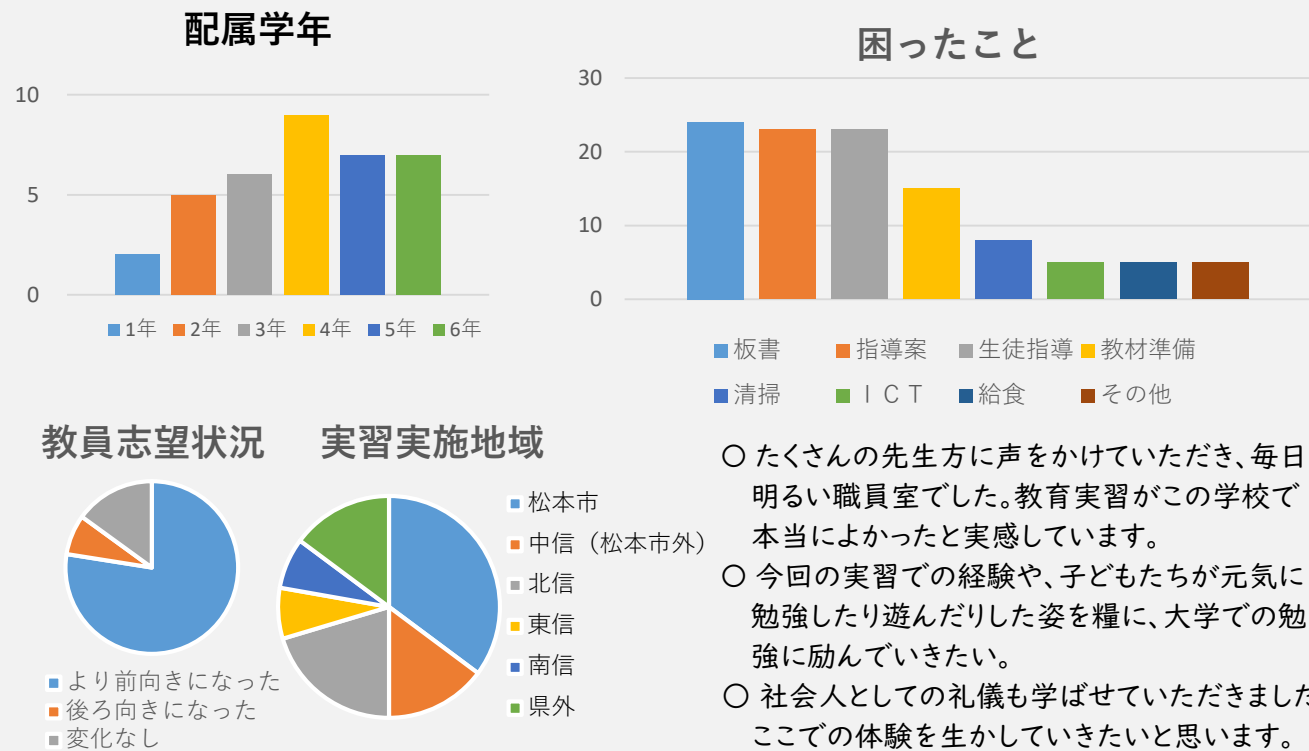


初等教育実習 Data (1期生アンケートより)



2019年度 初等教育実習実施期間

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
事前打合せ	初等教育実習(小学校) 3週間			事前打合せ	初等教育実習(小学校) 3週間			教育実習 事後報告会
	2人	8人		1人	2人	6人		
	3人	3人		10人	4人			
		11人		1人	3人			

2020年度 演習・実習プログラムについて

- 1年生 「学校ボランティア活動」 10月～ 毎週水曜日2時間×10回
- 2年生 「学校インターンシップ」 9月前半 1日8時間×4日間
- 3年生 「初等教育実習」 時期は実習校で決定 3週間
- 4年生 「中等教育実習」(英語) 時期は実習校で決定 3週間
- 4年生 「特別支援教育実習」 時期は実習校で決定 2週間

来年度もお世話になります。 よろしくお願いたします。

第一期生 初等教育実習 特集号



きらきらした子どもたちの姿から学んだ3週間

2017年4月に開設し3年目を迎えた教育学部では、松本大学全体の「地域社会の未来を創る」というビジョンの下、地域と連携して「人間力」のある教員を養成しています。1年次「学校ボランティア活動」、2年次「学校インターンシップ」と、早期から積極的に「学外授業」を取り入れ、本年度は初めての「初等教育実習」となりました。

5月から11月までのそれぞれの時期に3週間、松本市を中心に県内外の各小学校にて学生が大変お世話になりました。授業に関するのみならず、学生が人として生涯学び続けることができるような「人間力」を育てていただいたご指導に、心より感謝申し上げます。これからも、地域社会の子どもたちの未来を共に創ってまいります。

contents

- 教育実習日誌より ..... p. 2
- 「初等教育実習」中間発表会より ..... p. 3
- 初等教育実習アンケートより ..... p. 4
- 来年度教育実習について ..... p. 4



## 【3年次実習】「初等教育実習」

緊張の面持ちで全校児童に紹介されて始まった3週間の教育実習。終わって帰ってきた学生たちは、口々に「もっといたかった」「毎日が充実していて楽しかった」と、とても晴れやかな表情でした。

### 教育実習日誌より

実習への思い、毎日の授業参観から学んだこと、授業実習の指導案や振り返り、ご指導いただいたこと等がこの1冊に凝縮されています。

#### 学生の実習記録と指導教諭の助言



**<〇月〇日 実習生の感想・反省>** 善悪の判断ができた場面では、すかさずほめて、できなかった場面では「どうしてダメなのか」を明確に注意されていて、本当にすごいことだなと思いました。毎日の忙しい中で、子どもたちの様子をしっかりと見る大変さと、先生のすごさを感じました。

**<指導教諭の助言>** 「子どものためになることをする」のが教師の役割と思うと、ちゃんと伝えるということが行動に移せると思います。私から見ると、〇〇先生の一生懸命さが、すでにまぶしいです。

#### 教育実習を終えて(最終日の日誌より)

〇これから辛いこと苦しいことが多くあると思いますが、子どもたちからの言葉、手紙、先生からいただいた温かいお言葉が、私の原動力です。実習期間中、小学校生活を懐かしく思い、小学校の卒業文集を見返しました。将来の夢の欄には「ピアノが弾ける学校の先生になる」と書いてありました。この頃から憧れていた学校の先生になれるように、日々努力を惜しまず学び続けていきたいです。



〇 教員になるという覚悟を決めることができました。絶対に教員になり、子どもたちに仲間と自分を信じることの大切さを伝えたいと強く思いました。

〇 教師の仕事がどれだけ大変なのか、やり甲斐のある仕事なのかわかりました。～中略～ 机上の学びでは絶対に得ることのできない、とても貴重な経験をさせていただきありがとうございました。今回の経験を、必ず将来にいかします。

〇 お別れ会では笑顔で終わらせたかったけれど、思い出が涙として出てきてしまいました。～中略～ 優しく温かく接していただいた先生方には、私が成長するきっかけを与えていただいて、感謝してもしきれません。将来教師になって恩返しをしたいと思えます。



#### 指導教諭の先生からのメッセージ

松川村立松川小学校



松本 景光 先生

実習生ながら子どもたちと語り合いながら作っていく授業を、子どもたちは本当に楽しんでいました。子どもたちは寄り添ってくれる先生が大好きなので、先生のその姿勢のおかげで意欲的に活動できる授業になったと思います。

私も、事後指導等をおして子どもたちの学びについて熱く語り合い、その成長の喜びを一緒に味わうことができました。2年い組の子どもたちにとっても、実習生の先生の存在は大きく、良きモデルであり憧れの存在でもありました。

いつかまた、教員として共に子どもについて語り合える日を楽しみにしています。

## 教育実習事後報告会より



#### <困ったこと・ご指導していただいたこと>

- 〇 発問の仕方がすごく難しかった。自分ではこれでわかると考えた言葉も、子どもたちには伝わらないことが多々あった。
- 〇 自分ではやっているつもりでも、配慮不足だったことが何度もあり、臨機応変に対応すること、とにかく子ども第一で接することを何度もご指導いただいた。
- 〇 子どもたちに公平、平等に接すること、叱ること。

#### <後輩に伝えたいこと>

- 〇 子どもたちの良いところをたくさん見つけてほめてあげましょう。
- 〇 子どもたちは一緒に遊んでくれる先生が大好きなので、とにかく明るく笑顔を大切に楽しんでほしいです。
- 〇 子どもファーストの意識を忘れないことです。〇 児童の反応を第一に。
- 〇 子どもたちの気持ち、考えをくみ取れるような人になれるため、いろいろな人と関わる中で相手を理解することを心がけてください。



- 〇 発問は短く、簡潔に明確にすること、教材研究をしっかりと行う。
- 〇 模擬授業で作った指導案が役に立つ。(友だちの指導案も)
- 〇 実際の小学生は大胆でこちらが思いもしなかった意見を出してくることが多い。大学でやったことにとらわれず、対応の仕方を学んでほしい。
- 〇 実習に臨んで、今まで学んできたことに何一つ無駄はなかったと感じた。大学で勉強を頑張ったと思う人は自信をもつこと。準備が足りないかもと思う人も、今から取り組みれば間に合う。頑張る。

#### <忘れられない一言>

- 〇 学校が、若い教師に求めるのは教育に対する情熱。できないことが多いのは当たり前。(校長先生より)
- 〇 子どもたちの前では迷わない。動揺せず堂々としていること。(指導教諭の先生より)
- 〇 指導の基準(嘘をつく。友だちを傷つける など)を決めておく。その他は目をつぶる。(教務主任先生より)
- 〇 子どもにとって、1時間1時間が2度とやってこない大切な時間です。(指導教諭の先生より)
- 〇 教育は愛ある強制力(指導教諭の先生より) 〇 小学校の担任はおもしろいよ!!(指導教諭の先生より)
- 〇 来た時より先生っぽくなったね。先生の授業わかりやすい。〇 絶対先生になってください。(児童より)
- 〇 「先生がいなくなるなんて悲しい」って言ってました。(言うことを聞いてくれなかったA君のお母さんより)

#### <後輩からの質問・感想>

- 〇 指導案作りや教材研究をする時間は、どうやって生み出していましたか。  
→1時間は教材研究の時間を確保していただきました。
- 〇 終日実習の時には、6時間分の指導案を作成したのですか。  
→全部は書きませんでした。授業の流れや板書計画は必要です。
- 〇 不安もあるけれど、これからすべきことが見えてきた気がしました。
- 〇 これからの模擬授業への取り組み方を考えていきたいと思いました。



教育学部が開設されて3年目。学部先輩のいない第1期生が、松本大学教育学部生としての初めての教育実習を終え、学んだことを後輩に伝える会でした。失敗したことも含め、お世話になった小学校で指導いただいたことや経験をふまえて語った思いは、2年生の心に熱く響いたようです。この日を境に、明日からの大学での学修に向かう姿勢も変わっていくことでしょう。

教員になりたい気持ちの高まった3年生は、来年度に控えた教員採用試験に向けて準備を進めていきますが、ここで感じた教員の本質に触れる思いを生涯忘れることなく邁進して欲しいと思います。